

環境工学コース ディプロマ・ポリシー

(博士前期課程)

(Ⅰ) 課題の中から環境技術に関わる諸点を抽出し、それを他分野からの視点を含めて多面的に分析することで合理的な解決策を見だし、社会の持続可能な発展に貢献できる。

(Ⅱ) 資源・エネルギー、都市代謝、自然共生など多様な「環境ソリューション分野」に関わる課題を解決できる実践的研究手法を身につけ、的確に行動できるとともに、多くの人々に状況を正確に伝えることができる。

(Ⅲ) 課題解決においては、特に応用化学・生命工学との融合的な視点を保ち、協働しながらグローバルに活動できる能力と意欲、倫理観を身につけ行動できる。